

平成 30 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・国際臨海実習コース「International Marine Biology Course」		
実習内容	<p>佐渡島には多様な海岸環境とそれに伴う様々な海洋生物の生態系が見られる。また、潮位差が小さいこともあり、太平洋側とは異なる磯生物の生態と分布様式を見ることができる。本実習では、そのような佐渡の海の特徴を活かし、磯でのシュノーケリングを始めとするさまざまな手法を用いて採集した生物を観察・同定するとともに海洋生物の多様性とその進化について学ぶ。さらに、観察結果をグループで討論・発表することでお互いに理解を深める。</p> <p># この実習は、主に東南アジア諸国からの学生が参加する実習と合同で実施し、説明などは基本的に英語で行う。ただし、必要に応じて日本語によるサポートも行う。</p> <p><u>海洋生物採集・観察・同定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● シュノーケリングによる磯生物の観察・採集 ● たも網を用いた岸壁での夜行性海洋生物の灯火採集 ● 実習船でのプランクトンネットを用いたプランクトン採集 ● 砂浜でのウミホタル採集と発光観察 ● ウニの人工受精と初期発生の観察 <p><u>講義/発表</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡の海の特徴と海洋生物の多様性、系統分類、外部講師による特別講義 ● グループおよび個人による、生物の観察結果・考察の発表 		
実習内容キーワード	シュノーケリング、磯採集、プランクトン、種多様性、進化、形態、発生、系統分類、生態系		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、大森紹仁（臨海実験所・助教）、飯田碧（臨海実験所・助教）、北橋隆史（臨海実験所・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名	Prof. Yong Zhu（イースト・カロライナ大学、アメリカ）、Prof. A.A. Mohamed Hatha（コーチン科学技術大学、インド）、Prof. Md. Shahjahan（バンガラデシュ農業大学、バンガラデシュ）、Dr. Tran Duc Hau（ハノイ国立教育大学、ベトナム）、他		
対象学生・学年	学部 1～4 年生 (大学院生も可)	開講期間	H30 年 7/28 (土) ～8/1 (水) 4 泊 5 日
開講大学・施設名	新潟大学・理学部附属臨海実験所		
施設の住所	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	http://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/
交通案内	新潟港から、佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、両津港にて集合。両津港から臨海実験所までの移動は実験所がチャーターバスを用意する（無料）。直江津～小木航路の利用については、事前連絡があれば公用車で小木港まで送迎を行う。		
費用	実習期間中の食費および寝具洗濯代：約 9,000 円		
授業科目名	臨海実習 II		
単位数	1 単位	定員数	10 名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	原則として先着順。締め切り日は H30 年 6/22 (金)。		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する。		